



小学校再編だより

やさしさいっぱい 학교に！

4つの小学校の再編も、再編委員会が発足し、いよいよ具体的に動き出しました。その中で、今年度は、

○再編小学校の校舎建築・改修工事設計

○再編小学校の校名募集

○スクールバスや跡地利用等にかかる意見交換が、その大きなものです。



そのひとつ、校舎建築・改修工事の設計をするにあたり、広く児童・保護者・教職員の皆様に「こんな学校にしたいな」というアンケートを行い、多くのご意見やご要望をいただきました。ありがとうございました。

すべての意見に目を通して気づいたことがあります。それは、小学校に関わる方々が、自分以外の誰かのことを思い、「こんな学校にしたいな」と考えていてくださることです。

<子どもたちの声>



- ・給食の調理員さんや配膳員さんが給食ワゴンなどを運びやすいようにしてほしい。
- ・先生が過ごしやすくなるようにしてほしい。
- ・週末に地域の人が図書室などで本を読んだりカードゲーム、ボードゲーム対戦したりなどができるようにしてほしい。

<保護者の声>

- ・地域愛を自然と育む弥富らしさ（豊かな田園、美しい金魚、伝統の文鳥、温かな人の繋がりなど）を感じ、児童、教職員の皆さんが、誇りをもてる機能性とデザイン性を両立した工夫ある設計を望みます。
- ・子どもたちが安全に安心して生活できる環境につとめてほしい。

<教職員の声>

- ・学区が広がるので、地域と学校との交流を盛んにしたら、保護者のみなさんも安心するのでは。
- ・新館につけるエレベーターは人が乗れるものを設置してほしい。（この先、肢体不自由など特別支援で受け入れたり、けがをしたりした子の移動などを考えて。また、開かれた学校にしていくためには、高齢者など地域のどんな人にも優しい学校でありたい）



読んでいて、心が温かくなりました。こんな思いのこもった学校をつくることができたなら、きっとやさしさのあふれる活動が展開され、人や社会にやさしい子どもたちが育っていくと思います。検討する過程で叶えられないことも出てくるとは思いますが、大切な声にしっかりと向き合い設計を進めていきたいと思っています。